

男前アスパラガス

全雄
品種

ハルキタル

育成地
日本 福島県



品種特性

(1) 収穫期の特性

春先の萌芽は早く、収穫茎数はやや多く、若茎の伸びは良く、多収性を示す(図1)
若茎の色はやや淡緑色で若茎の頭部、りん片葉および基部でのアントシアニン色の発現はやや少ない。若茎の頭部のしまりは緊密で、揃いはきわめて良好である。

(2) 擬葉展開期の特性

草勢は旺盛で、草丈はやや長く、節間長は長い、第一側枝の高さはやや高い(表1)
雄株であるために結実株はない(気候により数%)斑点性の発生はやや少ない。

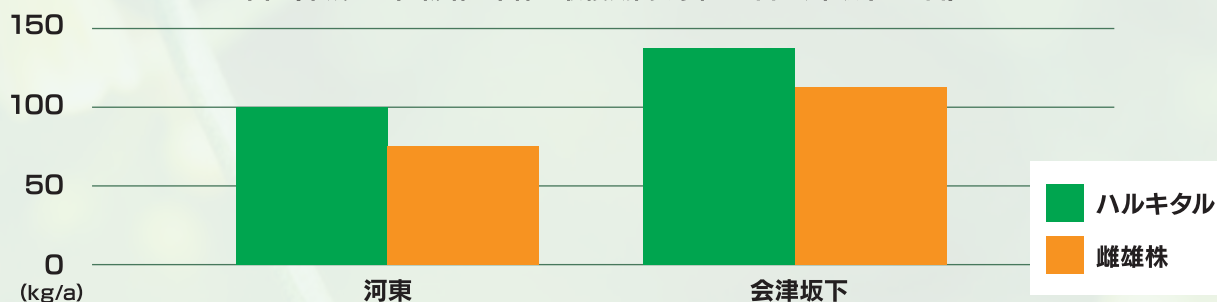
(3) 全般的な特性

収穫若茎の揃い性が極めて良好であるために調整作業や市場評価も期待される。
第一側枝の位置が高いことから栽培管理、収穫作業の省力化も期待できる。



福島県現地試験の収量(kg/a)

図1 (平成15年 栽培3年株 収穫期間 河東53日 会津坂下90日)



福島県におけるハルキタルの生育特性(表1)

品 種	最長草丈(cm)	莖径(mm)	節間長(cm)	第一側枝高さ(cm)	規格内品率(%)
ハルキタル	266cm	18.4mm	17.7cm	55.9cm	72.6%
雌雄株	260cm	20.9mm	15.4cm	50.9cm	68.7%

(福島県4年生露地)

※節間長：第一側枝着生部から上5節目までの莖の長さ

※側枝高さ：地際から第一側枝着生部までの莖の高さ

栽培のポイント

- ①育苗は、ポット苗か大きめのプラグ苗とする。
- ②本田の土作りは排水対策や有機物投入は充分に行う。
- ③定植時の参考施肥例(10a当たり)(表2)
- ④定植後の肥培管理は基本的に通常品種に準ずる。
- ⑤全雄株のために定植1年目から生育を旺盛(地上部・地下莖)に管理する。
- ⑥定植翌年度の春芽収量を安定確保するために1年目の間引き収穫は極力控える。
- ⑦2年目以降の立莖時の親莖径は、全雄品種のためにやや太莖を残す。(1.2~1.3mm)
- ⑧栽培適地や栽培方法は、「露地春どり栽培」、露地およびハウス内の「長期どり(立莖)栽培」など、幅広い作型で優れた特性を発揮する、適応性の広い品種です。

表2 定植時の参考施肥例(10a当たり)

肥料名	施肥量(kg)	備 考
鮮彩美人643	120kg	定植前7~10日
豊作源	150kg	定植前7~10日
珪リン酸	60kg	定植前7~10日
亜リン酸有機8号	30kg	定植前7~10日
有機石灰	200kg	定植前14~20日
完熟堆肥	30~50t	定植前100~150日



ハウス2年目若莖

☆本田は土壌分析を行って適正な施肥に努めましょう。

販売先・お問い合わせ

アグリ技研株式会社

〒839-0863 福岡県久留米市国分町1151-1
TEL0942-45-5800 FAX0942-45-5200